

第一節 神明会の種類

神明会は団体組織となし規約を立て神明を祀り相互の親睦および会員の利益を計るものをいう。

- 一 福德会は福德神土地の神を奉祀せるもの
- 二 媽祖会は天后すなわち媽祖を奉祀するもの
- 三 仏祖会は観音仏祖を礼拝するもの
- 四 杉郊媽祖会は材木商および呉服商にて組織 神明を奉祀するもの（台南にあり）
- 五 海澄輔会は支那海澄県（※現在の福建省漳州市）の人の組織せるものにして、輔信將軍を奉祀せるもの
- 六 温陵媽祖会は晋江県人（※現在の福建省福州市）の組織せしもの
- 七 義安社は潮州人の組織せしもの三山国王（※三つの山神、巾山国王・明山国王・独山国王をさす）を祭る
- 八 如蘭堂は台南天公廟内の玉皇を奉祀せるもの
- 九 南社は読書人等の組織せるものにして文昌帝（※文章を司る神）を奉祀せるもの
- 一〇 金義興は台南呉服商の組織せるものにしてある神明を礼拝するもの
- 一一 金慶興は塩水港の薬店の組織せるものにしてある神明を礼拝するもの
- 一二 李勝興（は）塩水港の糖業者の組織せるものにしてある神明を礼拝するもの

右のうち会と呼ばずして社といい堂といい興というも、その組織および目的において神明会と異なるところなきをもってこの節に列記せり。

第二節 神明会と反乱

昔戴萬生なるもの彰化において天地会の名の下に問仏童乩（タンキー）等をなして人民を惑わしついに衆人を集めて乱をなせり（※一八六二年に起こった戴潮春の乱をさす）。一神仏の会といえどもまた等閑に付す（いい加減に扱う）べきものにあらざるを知るべし。